

オリブ便り

主な内容

- ウエリスオリブから近況のご報告
- 自分史(18)(武蔵野関町)
- 訪問サービスのご紹介(鶴沼松が岡・吹田千里丘・新小岩)
- キッチンから愛をお届け!
- 片づけセミナー開催報告(町田中町)
- スタッフ紹介(武蔵野関町)
- ウエリスオリブの多様な住居形態



夏の風物詩

「毎年、初夏の風物詩「七夕飾り」を館内に飾っています。今年も6月にご入居者さまをお誘いし、折り紙でさまざまな飾りを一緒に手作りました。世界の平和や皆さまの健康など、願い事を書いた短冊も笹につけ、「七夕飾り」を皆さまに鑑賞していただくのも季節の楽しみとなっています」(ウエリスオリブ鎌倉岩瀬・武山支配人)



「春と秋に開催しているガーデニング倶楽部の皆さまが、日頃からお手入れしている花壇の花をお分けするイベントです。当日、中庭にいらした方々の嗜好を伺い、切り花を差し上げています。花壇のリフレッシュにも役立っています」(ウエリスオリブ成城学園前・まちライブラリースタッフ)



緑と歌のプレゼント



「5月12日(金)、ご近所のきりん愛育園の園児による歌の披露会を開催。26人の園児が元気いっぱいに「鯉のぼり」などを合唱し、ご入居者さまも歌に合わせて手拍子され、一緒に楽しめました。最後に園児手作りの首飾りが全員にプレゼントされ、「ひ孫のことを思い出した」と感涙される方もいました」(ウエリスオリブ吹田千里丘・橋本支配人)



「週に一度活動している手芸サークルは、ボランティアスタッフが活躍！事前に試した上で、レクチャーしてくれます。細かい作業、力が入る作業は参加者同士で助け合いながら、完成まで数週間かかるものもあり、大変でも達成感を口にされる方が多いです」(ウエリスオリブ東村山富士見町・まちライブラリースタッフ)

ちょっと変わった楽器を演奏



「4月15日(土)、スコップ三味線の演奏会を行いました。エントランスでのイベント開催は約3年ぶり。最初は先生の演奏を聴き、その後にご入居者さまにも参加いただきました。革張りの三味線を演奏された経験はあっても、スコップ三味線は皆さまが初体験！スコップに弦が張られているわけではなく、曲に合わせて、まるで弾いているようにスコップを叩きます。談笑されながら、楽しい時間を過ごされました」(ウエリスオリブ鶴沼松が岡・杉崎支配人)



「絵本の読み聞かせや輪読は、かつて朗読会でご活躍のご入居者さまの声掛けが始まりました。その活動に参加中の方から、「たくさんの人に楽しんでいただけよう、ペープサート(紙人形劇)はどう?」というご提案が！11月の公演をめざし、興味で絵を描いていた方が中心となって、絵を描いたり、色を塗ったりなどの作業を手分けしながら準備を進めています」(ウエリスオリブ津田沼・まちライブラリースタッフ)

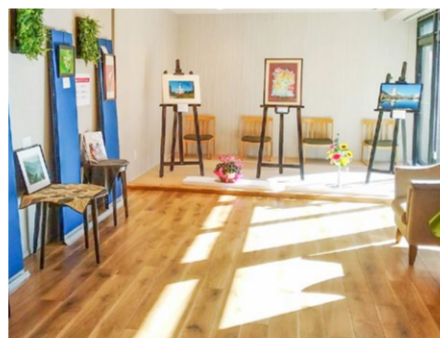
建物併設のデイサービスがお買い物特設会場に

「6月18日(日)、併設のデイサービスがお買い物特設会場に！今回は肌着、パジャマ、カットソー、スポンなどの夏物衣類がたくさん並びました。デイサービスの定休日を利用しての開催で、車椅子のままご来場、ゆっくり買物ができます。たくさんのご家族の方々もお越しになり、一緒に買物を楽しまれました」(ウエリスオリブ武蔵野関町・橋本支配人)



再び交流が始まり、日々、活気が戻りつつあります。各ウエリスオリブでは、引き続き感染予防対策を講じながら、面会制限の緩和やさまざまなイベントを通じての人と人の交流も徐々に始まりました。

一部物件で地域の方にもご利用いただいていた併設のレストラン「つなぐカフェオリブ」も外部利用者への開放を再開いたしました。今後もさまざまな状況の変化に合わせて対応をしてまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



作品の展示会も

「1月下旬の約2週間、コモンスペースでご入居者さまとスタッフの作品展示会を開催しました。写真・絵画・手芸など多数の力作が出品され、観覧も楽しいものに。これを機に立ち上がったサークルなどで、より一層交流が増えることを願っています。今後も定期開催を予定しています。多くの出品をお待ちしております！」(ウエリスオリブ吹田千里丘・橋本支配人)



「4月14日(金)、ご近所のクローバーベーカリーさんをお招きし「パンの日」が実現。開始後すぐに売れ切れてしまったため、お店まで取りに戻られて再オープン。追加のパンも完売となりました。お買物を通じ、ご入居者さま同士の会話も弾み、とても楽しいひとときとなりました」(ウエリスオリブ吹田千里丘・橋本支配人)

《ウエリスオリブでご提供する多様な住居形態》

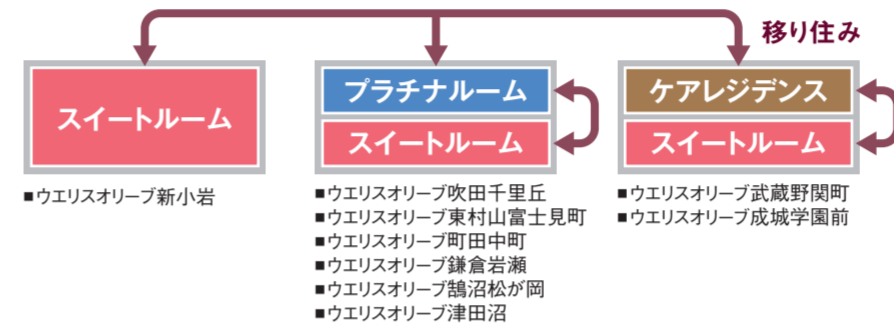
ご自宅からの住み替え先をお探しの方、また病気や怪我などでの退院後の療養型住宅として介護・医療両面で安心できる住まいをお探しの方など、さまざまなニーズに対応できるよう、3つの住居形態をご用意しています。(物件によりご用意している住居形態は異なります)

■暮らし方で選べる住まい

スイートルーム 見守られる安心とプライバシーを両立し、自由に過ごせる自立型の住まい。	プラチナルーム 必要な時に必要なだけ介護サービスを受けられ、安心して暮らせる住まい。	ケアレジデンス 一般型特定施設入居者生活介護 ご入居者さま3名に対し、介護スタッフ1名を配置の体制。365日・24時間常駐の住まい。
--	--	--

■移り住みも可能※1

身体状態の変化に合わせて、建物内およびほかのウエリスオリブへ住み方を移すことができます。※1 入居状況によりお待ちいただく場合があります。



生き生きとお過ごしいただけるよう、各方面からサポート。

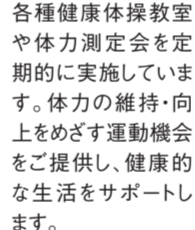
心も体も健やかな日々を支えるために、定期的な運動機会のご提供、趣味の仲間づくりやサークル活動のサポート、そして皆さまが憩える空間をご用意しています。

健康プログラム



ウエリスオリブ新小岩

運動仲間もできる楽しい時間!



ウエリスオリブ武蔵野関町

各種健康体操教室や体力測定会を定期的の実施しています。体力の維持・向上をめざす運動機会をご提供し、健康的な生活をサポートします。

一緒に体を動かそう!



ウエリスオリブ新小岩

憩える場所



ウエリスオリブ町田中町(2F つなぐカフェオリブ)

まちライブラリー

共用空間の食堂やラウンジには、ミニ図書館「まちライブラリー」も併設。本の寄贈者からのメッセージに、読後の感想を書き連ねる感想カードで、交流を育みます。



ウエリスオリブ東村山富士見町「園芸サークル」

サークル設立支援



ウエリスオリブ新小岩では、盆踊り本番会に向けて、定期練習会が6月にスタート！ご入居者さま主体のサークル活動化もめざしています。練習の合間に思い出話にも花が咲きます。

盆踊り仲間大募集中!



趣味やサークル活動支援



ウエリスオリブ東村山富士見町「園芸サークル」

まちライブラリーのスタッフを中心にさまざまな活動や交流イベントを実施しています。ハンドメイドやアート作品づくり、囲碁、園芸など、ジャンルは幅広く、趣味を通じ仲間が増え、交流を深められています。



ウエリスオリブ東村山富士見町「塗り絵サークル」

ご協力をお願い 皆さまの投稿を《ドシドシ》お寄せください!

おすすめのレシピや健康法、観光スポット、ご自身のアート作品や写真、川柳などをぜひお気軽にご投稿ください。「オリブ便り」紙面にてご紹介させていただきます!

投稿方法

サービスカウンターでご投稿いただけます。コンシェルジュスタッフにお問い合わせください。①ご投稿の内容 ②お名前(またはペンネーム) ③ご連絡先の記載をお願いいたします。本紙掲載前に内容をご確認いただけるよう、編集部からご連絡申し上げます。

ご意見もお待ちしております

〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原UDX 11階 NTT都市開発株式会社 住宅事業本部 「オリブ便り」編集部

自分史

第十八回 菅陽一さん

「ウリスオリーブ武蔵野関町」在住

人となりがり得た温かな縁
仕事もボランティア活動も趣味も、何事にも真正面から向き合い、常に一歩前へ進む努力を続けた人生。そこから生まれたのは、周囲を氣遣い、穏やかな空気を生み出す感性でした。



1934年生まれ、東京都出身。最愛の妻に支えられ、諸所で求められる役割を果たされてきました。一日の始まりに、1時間以上の散歩が健康の秘訣です。

NTTの局外線路部
門一筋だった。
菅さん それはもう一筋45年です。とつもない勢いで変革が進んだ時代と重なり、日本の高度成長期の発展に私もこの身を捧げました。
——どんな業務にあたられていたのでしょうか？
菅さん 通信回線が未通の場所での線路の敷設、災害などで被害を受けた線路・設備の復旧などの工事責任者が長かったです。設計に長じており、厳しい状況でも突き進む遂行力を評価され、東京から1000キロメートル離れた小笠原諸島の父島、母島の現場や噴火被害が甚大な三宅島をも赴任地に、責務を果たしました。



木版画教室の仲間と始めた「木版画展」会場前での集合写真(2005年6月撮影)。菅さんは、後列右から2番目。幹事役をこなしていました。



第12回極美展(会期:2006年12月19日~12月24日、会場:東京都美術館)において「極美賞」を受賞した「武家屋敷」。山口県までスケッチしに出かけ、1カ月ほどかけて制作したサイズ:365x540mmの大作です。



週刊「地球旅行」の全100冊をまちライブラリーへご寄贈。外出が難しかった時期に、ご入居者さまの心を大いに慰めたそう。

——随分、遠い所へ。
菅さん 伊豆諸島は飛行場がありませんが、当時、小笠原諸島へは船のみで太平洋の荒波に揉まれて丸一日。離島時は思わず涙がこぼれましたね。工事期間は1カ月ほどでも島の人が紙テープで見送ってくれて。
——地域貢献への感謝の気持ちの現れですね。
菅さん ボランティア活動には興味があり、定年退職後に地元地域の自治会長補佐役を務めました。当時から人手不足が大問題で、どうか解決しようとして奔走しました。夏祭りなどの行事の運営円滑化を目的とした「自治会をサポートする会」を創設し、児童の登下校時の防犯監視もしました。
——ご自分のための時間を全くつくりませんか？
菅さん 家族旅行もしましたよ。車の運転が好きで、東北道走り、フェリーで北海道とか。鳥羽の方へも車で行きましたね。旅と旅先のプレゼンとは、現役時代に家庭を顧みなかったお詫びのようなもので、それから、私の人生に大きな意味をもたらした木版画にも打ち込みました。
——作品を見ました。
菅さん もう制作はしていませんが、皆さんが利用されるカフェで木版画には仲間と展示会を開き、出張するための作品テーマやモチーフの模索のためのスケッチ旅も企画しました。
——始められたきっかけ
菅さん 下絵を描き、木版を彫り、紙に刷る。後には仲間と展示会を開き、出張するための作品テーマやモチーフの模索のためのスケッチ旅も企画しました。

随時募集中! あなたの物語、「自分史」を「オリーブ便り」に掲載しませんか? 「オリーブ便り」編集スタッフがお話を伺い、あなたの「自分史」の記事にまとめます。大切にできたことや物、思い出話をぜひお教えください。ご興味がありましたら、コンシェルジュスタッフまでお声掛けください。

思い出はそのままに、部屋も心もスッキリ! 片づけセミナーを開催!

外部者利用が再開したウリスオリーブ町田中町のつなぐカフェオリーブで、7月8日(土)、片づけセミナーを開催しました。
今回お招きした講師は、「人生の意義が見つかる!」と有名精神科医も大絶賛の片づけ法を昨年一冊の本に著した小野めぐみ先生。手放すor手放さないだけではない「第3の選択肢」で、幸福感がアップする新しい片づけ術をご紹介します。

その名も「思い出コンパクト術」。編み出されたきつかけは、父親の旅立ちと遺された70冊もの家族アルバムでした。

「全てを受け継ぐには保管場所もありませんで。考えた末、ダイジェスト版のフォトブックを制作することにしました」
思い出とはとても大切なものでありながら、多くは忘れてしまっているものです。片づけようとしてひとつ手に取ることで、当時の良い思い出、悲しい記憶と向き合えます。自分はどう思っていたのか、これからはどうしたいのかも見えてきます。思い出の残し方、整理の仕方は、参考になったと好評のセミナーとなりました。



母親の食器コレクション、大切にしていた裁縫箱などを撮影してアルバム化。「私も持ってた!」と思いで盛り上がりました。



左:整理前の実家の部屋を撮影したアルバム。右:70冊ものアルバムをまとめ、説明も加えたフォトブック。手に取られ「こういうことか!」とご納得のご入居者さま。



入居ご検討者さまも特別にご招待。セミナー後、大きな物の処分や、着物や仏壇などのリメイクについてのご質問がたくさん飛び出しました。



小野先生が著書をご寄贈くださいました! まちライブラリーで、ぜひ手にお取り下さい。

思い出が守りに
「祖母から母親へ、そして私へ受け継がれた指輪を自分好みのデザインに変えて、大切に身につけています」(小野先生)



小野めぐみ先生
メディアファクトリー、KADO KAWAで数々のベストセラー書籍の企画・編集に携わった経験を活かし、思い出フォトブックなどの制作を手掛ける「思い出編集室」を創設。思い出と向き合いながらスクリップつくメソッドが、メディアの注目を集めています。
https://omoido-office.com/

掲載一例
●「ハルメク」2022年9月号ほか
●「クロワッサン」2022年8月25日号
●産経新聞 書評2022年7月24日朝刊
●東洋経済オンライン 2022年6月
●WEBレタスクラブ 2022年6月6日



「人生で一番素敵な片づけ」(三笠書房)

キッチンからHOTな愛をお届け!

旬の食材、栄養と配色のバランスにも配慮した献立づくり、調理法にもさまざまなアイデアを散りばめ、心を込めて食事をご提供しています。今回は、キッチン業務に携わるスタッフのお薦めメニューをご紹介します!

握り寿司

マグロ・中トロ・サーモン・カンパチ・甘エビ・タイなど、ネタが盛りだくさんの握り寿司をご紹介します。厨房で解凍・切り出しを行い、新鮮さを保った状態での提供に努めています。魚の旨味を逃さないようにするためには、温塩水解凍で素早く解凍すること。素材の良さを活かす重要なポイントです。

とんかつ

「とんかつ新宿さぼてん 特選やわかしれかつ」は、肉が柔らかく、ボリューム満点でおいしいと人気のメニューです。パン粉の付け方から、揚げの手順、カット方法などを習得した専任調理師がひとつひとつ丁寧に仕上げています。これまでに「大変だったでしょう!」とねぎらいの言葉をいただいたことも!

ハンバーグ

「梅雨を元気に乗り切ろう!」を6月のテーマにして、ハンバーグの和風レモンソース、玄米御飯、納豆と長芋のしそ和え、牛乳プリン、黒蜜がけ、味噌汁でまとめた一食をご提供しました。疲労回復や食欲増進、体をつくるための栄養素などをしっかり摂れる献立になっています。

※上記メニューはウリスオリーブでの献立の一例です。物件ごとに食事メニューは異なりますのでご承知おきください。

スタッフ紹介 / ウリスオリーブ 武蔵野関町

ご入居の皆さまの日々の生活を陰ながらサポートしているスタッフにスポットライトを当てて、仕事内容+アルファをご紹介します。

ウリスオリーブ武蔵野関町は、

プライベートと安心の両立を実現する「スイートルーム」と365日・24時間、介護サービスを提供する「ケアレジデンス」で構成されています。「ケアレジデンス」は行政から指定を受けた居住系介護保険サービスの特定施設入居者生活介護です。日中帯に看護職員を配置すると共に、介護職員が常駐することで、日々必要なサポートにより生活を支援できる点が特徴です。「約束の日時に訪室し、決まった時間内にサービスを提供する訪問介護ではなく、必要な時に対応可能な24時間サポート体制です。だからこそ、ご入居者さまのわずかな体調の変化、趣味や特技など新たな一面を知れるのだと思います」

ケアレジデンス管理者 磯村 真吾さん

埼玉県所沢市出身。学生時代に打ち込んだのはトランペット。中学校の吹奏楽部で、トランペットを選んだ理由は「指で押さえる場所がたった3カ所です。簡単そう!」と思ったから。単純な見た目でも、バルブが3つしかないという制限のある中、実は複雑な音を作り出す大変さを実感し、技術向上と工夫する大切さに気付きました。

「術後の一時療養先に決めた実家での生活で、両親の体の衰えに気付いたので、「介護」を身近に感じることが、この業界へ進むきっかけになりました」

体調と相談しながらも療養期間を新たな学びの機会と捉え、介護の専門学校に通学、資格を得ました。介護業界への興味は深まり、転職を決意。最初は特別養護老人ホームに入職、次の小規模デイサービスではレクリエーションの企画から送迎業務まで幅広くこなしました。住まいと実家の間で勤務先を探し、採用されたのがウリスオリーブ武蔵野関町でした。ウリスオリーブ東村山富士見町のオープン時期でもあり、先に東村山で管理者の経験を活かし、2年前にウリスオリーブ武蔵野関町へ戻ってきました。

「駅弁も好きでした」

フィルムカメラを父親から譲り受け、カメラも趣味に。高校生で初めて一眼カメラを手に入れました。

千葉県銚子市を走る銚子電鉄も友だちと共に制覇。今年、開業100周年を迎えました。



東海道本線黄金時代を代表する特急「つばめ」。西へ運転区間を伸ばしていききました。



千葉県銚子市を走る銚子電鉄も友だちと共に制覇。今年、開業100周年を迎えました。



「難しいことに挑む姿勢!」
操作の難しいトランペットを自在に奏でた学生時代、吹奏楽部として県大会への進出を決めました!

「駅弁は必ず食べよう!」と決めていたという友だちとの鉄道旅。今も記憶に残るのは千葉で食べたほかほかの「とんかつ弁当」でした。今は冷蔵ケースに並ぶ駅弁ですが、当時は炊きたてご飯、揚げたてのとんかつで提供していたそうです。消費期限の年月日が刻印される弁当包み紙は、そのまま旅の思い出になりました。

「電車は素晴らしい...」
同じ鉄道ファンで友だちとあちこち出かけた小中学生時代。電車は待ってられないので、「遅刻者は追いつける電車を時刻表から探さねばなりません。皆と合流できたときは嬉しかったですね」。念願の特急「つばめ」乗車の旅は、大阪観光はせずに東京へんがり返り!

「駅弁も好きでした」
フィルムカメラを父親から譲り受け、カメラも趣味に。高校生で初めて一眼カメラを手に入れました。

暮らしをサポート! 訪問サービスあれこれ

移動販売

横浜からウリスオリーブ鶴沼松が岡、ウリスオリーブ鎌倉岩瀬へ、隔週で新鮮野菜と旬の果物、さらにお菓子などを真中青果さんが届け! 店主の手柄からファンも多く、1時間半の滞在時間中、毎回20名ほどのご入居者さまが利用されています。店主との会話も素敵な時間となり、皆さまが買い物を楽しまれています。(ウリスオリーブ鶴沼松が岡)

青果

新鮮な野菜と果物を毎日お届けします。

スイーツ

6月16日(金)、阪急百貨店の「走るデパ地下 阪急のスイーツ」が開店し、隣接の分譲マンションご入居者さまも合わせて100名ほどのご来場があり大盛況でした。「高齢で百貨店までなんて買い物にも行けなかったで、とても嬉しかった」とお礼の言葉をかけてくださる方もいました。(ウリスオリーブ吹田千里丘)

キッチンカー

建物前にキーコーヒーカフェが6月23日(金)13~15時、臨時オープン! コーヒーやカフェラテ販売のほかにはポップコーン、ケーキなどのスイーツ、コーヒー豆も並びました。待ち合わせと一緒に買い物、食堂ラウンジで過ごされるご入居者さまも、ほっと一息できるコーヒープレイクとなりました。(ウリスオリーブ新小岩)